

湿原と森林の境

ここでは、湿原がどのように森林に移り変わっていくかを観察できます。湿原の強酸性、高湿度、低養分の環境から離れるにつれ、新しい種類の植物が現れ始めます。境界地域にはイヌツゲ、ハクサンシャクナゲなどの低木が根を下ろし、その後、ミネカエデ、タムシバ（ニオイコブシ）、コシアブラなどの樹木や低木がとってかわります。やがて、土壌が安定したところにブナの森が根を張ります。植生の変化がどのように生態系の違いを示しているかに注目してみましょう。